

主催：東京科学大学 データサイエンス・AI全学教育機構

共催：数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアム

公開
シンポジウム

— Science Tokyo 設立記念 —

東京科学大学 データサイエンス・AI全学教育機構

シンポジウム 2025

学生参加型

生成AI時代における 教育が導く未来

2025.

3.14 (金)

14:00-17:15 受付開始 | 13:30 -

会場：東京科学大学 大岡山キャンパス

西9号館デジタル多目的ホール

オンライン：Zoomウェビナー

参加無料

講演 1

栗原 聡

人工知能学会会長 /
慶応義塾大学 理工学部 教授



人工知能研究者としてこの分野に大きく貢献。テレビや雑誌などメディアにも多数登場。人と共生できるAIの実現を目指し、自律型認知アーキテクチャの構築に取り組む。

従来のテクノロジーと大きく異なる特性を持つ生成AIの唐突な登場と加速する社会進出に対して、学びや仕事において我々はどうに変容すべきか？あるべき人と進化するAIとの共生について考える。

AIとの共生がもたらす「学び」の変容

講演 2

齋藤 優太

コーネル大学大学院
コンピュータサイエンス専攻 博士後期課程
/ 半熟仮想(株)共同創設者



因果効果の予測等を行う反事実機械学習を研究。成田悠輔氏らと共に半熟仮想株式会社を創業した若手実業家でもある。日本オープンイノベーション大賞内閣総理大臣賞受賞。

生成AIを筆頭に急速な発展を遂げるAI技術であるが、そのポテンシャルを十分に引き出せる人材は限られている。本講演では、AIの挙動を自在に制御するために必要な問題設計能力について議論する。

生成AIの時代に求められる 問題設計能力

講演 3

笹原 和俊

東京科学大学
環境・社会理工学院 教授



計算社会科学の手法を用いて、フェイクニュースの拡散メカニズムとその抑止技術の研究に取り組む。「フェイクニュースを科学する：拡散するデマ、陰謀論、プロパガンダのしくみ」など関連著書も多数執筆。

生成AIの普及は、新たな分断を生む懸念がある一方で、創造的な教育を実現する可能性を秘めている。この分断を乗り越え、AIと人間の共創による包摂的な価値創造を探る。

生成AIと教育の共創： 分断の超克と包摂的な価値創造



お申し込みはこちらから

<https://www.dsai.titech.ac.jp/news/symposium2025>

申込締切日：2025年3月13日(木)

お問合せ

東京科学大学 データサイエンス・AI全学教育機構

E-mail: symposium@dsai.isct.ac.jp

PROGRAM

現地受付開始 | 13:30 -

司会：小野 功

東京科学大学 データサイエンス・AI 全学教育機構
副機構長 情報理工学院 教授

14:00 - 14:05	理事長挨拶 大竹 尚登 東京科学大学 理事長
14:05 - 14:10	学長挨拶 田中 雄二郎 東京科学大学 学長
14:10 - 14:15	来賓挨拶 文部科学省高等教育局専門教育課
14:15 - 14:20	機構長挨拶 三宅 美博 東京科学大学 データサイエンス・AI 全学教育機構 機構長 情報理工学院 教授
14:20 - 15:00	講演 1 AIとの共生がもたらす「学び」の変容 栗原 聡 人工知能学会会長 / 慶応義塾大学 理工学部 教授
15:00 - 15:30	講演 2 生成AIの時代に求められる問題設計能力 齋藤 優太 コーネル大学大学院 コンピュータサイエンス専攻 博士後期課程 / 半熟仮想(株) 共同創設者
15:30 - 15:45	休憩
15:45 - 16:25	講演 3 生成AIと教育の共創： 分断の超克と包摂的な価値創造 笹原 和俊 東京科学大学 環境・社会理工学院 教授
16:25 - 17:15	パネルディスカッション パネリスト：講師3名 / 理工学系と医歯学系から学生若干名
17:30 - 19:30	懇親会 会場：東京科学大学大岡山キャンパス つばめテラス

生成AI時代における教育が導く未来

東京科学大学 データサイエンス・AI 全学教育機構シンポジウム 2025